

市議会だより おおだ

No. 75

2024(令和6)年5月23日発行

- ✿ 議長・副議長、委員会構成決まる … 2
- ✿ 令和6年度 当初予算 …………… 3
- ✿ 一般質問に11人 …………… 8
- ✿ 特別委員会報告 …………… 14
- ✿ 一般質問のYouTube配信スタート 16

表紙の写真 波根町 カモミール祭り

～カモミールに包まれて いつまでもお幸せに～

4月臨時市議会

議長・副議長、

委員会構成、決まる



議長 かわ むら けん じ
河村賢治



副議長 お がわ かず や
小川和也

正副議長就任あいさつ

私どもは、過般四月の臨時市議会においてご推挙いただき、正副議長の要職を務めさせていただくことになりました。

誠に身に余る光栄でありますとともに、その職責の重大さを痛感いたしております。

大田市議会は、議決、監視機関としての役割のみならず、二元代表の一翼を担う機関として、積極的に政策提言を行うとともに、開かれた議会への取り組みを進め、皆様のご期待に応えるべく、議員一人ひとりが大田市の発展に全力で努力してまいります。

今後とも、市民の皆様の格別のご理解、ご協力をお願い申し上げ、ごあいさついたします。

◎委員長 ○副委員長

総務教育委員会

◎胡摩田 弘孝
○伊藤 康浩
石橋 秀利 河村 賢治
松村 信之 和田 章一郎

民生委員会

◎森山 幸太
○月森 和弘
清水 勝 石田 洋治
小川 和也 宮脇 康郎

産業建設委員会

◎根宜 和之
○塩谷 裕志
小林 太 亀谷 優子
清水 好 柿田 賢次

議会運営委員会

◎塩谷 裕志
○松村 信之
胡摩田 弘孝 森山 幸太
和田 章一郎 宮脇 康郎

広報広聴委員会

◎小川 和也
○胡摩田 弘孝
石田 洋治 宮脇 康郎
清水 好 柿田 賢次
伊藤 康浩

監査委員（議会選出）

月森 和弘

3月定例市議会

令和6年

2月28日(水)～3月19日(火)

「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”」
の実現に向け、**当初予算決まる**

可決

賛成多数



出会いの場創出事業

361万円

独身男女の出会いの場を創出するため、民間事業者と連携した婚活イベントを開催



世界遺産登録20周年・石見銀山発見 500年記念事業

665万円

「石見銀山遺跡」が世界遺産登録20周年及び発見500年を迎える令和9年に向け、情報発信の強化や、観光誘客のための取り組みを実施

R6当初予算 特徴的な取り組み



“TWILIGHT EXPRESS 瑞風” 受入環境整備事業

450万円

本年秋から石見銀山が立ち寄り地になることが決定した豪華寝台列車の受入にあたり、停車駅である温泉津駅及び周辺地域の受入環境整備を実施



大田小学校整備事業

8,000万円

老朽化が進む現校舎の建替えに向け、敷地内の地質調査及び測量設計、新校舎の基本設計を行う

令和6年度
一般会計
当初予算

241.5億円
(対前年度比7.2%増)

第2次大田市総合計画 施策体系からピックアップ

🌸 産業づくり〈多様で活力ある「産業」をつくる〉

あなごブランド化 推進事業	320万円	「大田の大あなご」の更なるブランド価値の向上を図るため、飲食イベントや市内事業者と連携した土産品の開発等を実施
------------------	-------	---

🌸 豊かな心づくり〈ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる〉

学校給食費 負担軽減事業	1,178万円	高騰する食材料費の増額分の負担を支援し、保護者負担を増やすことなく給食を提供するため、学校給食会計への支援を行う
-----------------	---------	--

🌸 暮らしづくり〈だれもが住みよい「暮らし」をつくる〉

こども家庭総合支援 拠点施設整備事業	5,000万円	全ての妊婦・子育て世帯がいつでも安心して相談できる支援体制を構築するため、「総合支援拠点」の整備に向けた基本設計等を行う
-----------------------	---------	--

🌸 都市基盤づくり〈くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる〉

大田市駅東側 まちづくり事業	2億 8,250万円	大田市駅を中心に都市構造の再編を図るため、土地区画整理事業の実施に併せ、駅通り等の整備を行う
地域交通対策 事業	1億 4,676万円	地域住民にとって必要不可欠な生活バス路線の維持を目指すとともに、効率的かつ効果的な生活交通体系の構築を図る

🌸 持続可能なまちづくり〈協働・共創により「持続可能なまち」をつくる〉

庁舎整備事業	3,550万円	基本設計先行型デザインビルド方式(*)で行う新庁舎整備について、実施設計と工事に先立つ基本設計を行う(R6～7年度) (※)基本設計完成後、実施設計と工事を一括発注する方式。発注者の意向を設計に反映しやすいメリットがある
大田葬斎場 長寿命化改修事業	4,840万円	市内3か所の葬斎場(大田・温泉津・仁摩)を大田葬斎場に集約するため、施設の長寿命化に向けた実施設計等を行う

3月定例会で審議された その他の内容

人事案件

【同意】

▼教育委員会教育長の任命につき同意を求めること

武田祐子教育長の任期が、本年3月31日満了のため、同氏を再任することについて同意を求めたものです。任期は3年です。



【異議なく同意】

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

現委員である梅田明江氏（温泉津町）の任期が本年6月30日満了のため、同氏を再任することについて意見を求めたものです。任期は3年です。

2月臨時市議会



全会一致

2月1日
開催

令和5年度一般会計補正予算(第8号)
1億4,640万円



電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援 給付金給付事業

長期化する物価高騰による負担を踏まえ、給付対象を住民税均等割のみ課税世帯まで拡大するとともに、低所得の子育て世帯へ追加で支給

- 住民税均等割のみ課税世帯：1世帯あたり10万円
- 住民税非課税世帯または住民税均等割のみ課税世帯に属する
子供加算：18歳以下1人あたり5万円

全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営に
関し協議・調整をおこないます

2月1日

- ・令和5年度2月補正予算(案)の概要
- ・大田市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画
- ・略式代執行の実施の予定
- ・バス路線(波積線)の減便

2月28日

- ・大田市における土地の小字の全廃
- ・おおだ子育てにかかる総合支援拠点施設整備基本計画(案)
- ・大田市駅前周辺東側土地地区画整理事業の進捗状況及び今後の予定

3月6日

- ・令和6年度大田市重点要望の結果
- ・大田市木材の利用促進に関する基本方針」及び「大田市木材利用行動計画」の改正
- ・学校のあり方に関する実施計画の見直し状況

3月19日

- ・大田市地域公共交通計画(素案)
- ・期日前投票所の設置期間の短縮

4月19日

- ・令和7年度大田市重点要望
- ・子ども医療費の助成対象の拡大
- ・大田市廃棄物の処理及び再生利用等の促進に関する条例に基づく処理手数料及び許可手数料の改定

◇ 2月臨時会提出議案等賛否一覧表

議 案 名	議 員 名 等	議 決 結 果	賛 成	反 対	等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太
■市長提出議案																							
議案第222号 令和5年度大田市一般会計補正予算（第8号）	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一

※定数18名、うち議長（小林 太）は採決に加わりません
※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）

◇ 3月定例会提出議案等賛否一覧表

議 案 名	議 員 名 等	議 決 結 果	賛 成	反 対	等	塩 谷 裕 志	伊 藤 康 浩	柿 田 賢 次	清 水 好	宮 脇 康 郎	和 田 章 一 郎	亀 谷 優 子	根 宜 和 之	森 山 幸 太	胡 摩 田 弘 孝	小 川 和 也	石 田 洋 治	松 村 信 之	河 村 賢 治	月 森 和 弘	石 橋 秀 利	清 水 勝	小 林 太
■市長提出議案																							
議案第223号 令和6年度大田市一般会計予算	可決	12：4	○	○	●	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第224号 令和6年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	可決	15：1	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第225号 令和6年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第226号 令和6年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	15：1	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第227号 令和6年度大田市介護保険事業特別会計予算	可決	15：1	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第228号 令和6年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第229号 令和6年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	可決	15：1	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第230号 令和6年度大田市水道事業会計予算	可決	15：1	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第231号 令和6年度大田市下水道事業会計予算	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第232号 令和6年度大田市病院事業会計予算	可決	15：1	○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第233号 令和5年度大田市一般会計補正予算（第9号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第234号 令和5年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第235号 令和5年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第2号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第236号 令和5年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第237号 令和5年度大田市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第238号 令和5年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第239号 令和5年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第240号 令和5年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第241号 令和5年度大田市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第242号 令和5年度大田市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第243号 令和5年度大田市病院事業会計補正予算（第3号）	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第244号 大田市名誉市民に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第245号 大田市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第246号 大田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第247号 大田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第248号 大田市災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16：0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

議 案 名		議 員 名 等																				
議 案 名		議決結果	賛成	反対等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太
議案第249号 大田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:1		○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第250号 大田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:1		○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第251号 大田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:1		○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第252号 大田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:1		○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第253号 大田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第254号 大田市介護保険条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:1		○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第255号 大田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第256号 大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:1		○	○	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第257号 大田市漁港管理条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第258号 大田市営住宅条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第259号 大田市給水条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第260号 大田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第261号 大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第262号 大田市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第263号 大田市社会教育推進センター設置条例を廃止する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第264号 小字の廃止について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第265号 市道路線の認定及び変更について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第266号 和解及び損害賠償の額の決定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第267号 令和5年度大田市一般会計補正予算（第10号）		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第268号 大田市税条例の一部を改正する条例制定について		可決	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第269号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて		同意	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第270号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		異議なし	16:0		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名、うち議長（小林 太）は採決に加わりません
※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々） ※「欠」は欠席

◇ 4月臨時会提出議案等賛否一覧表

議 案 名	議 員 名 等	議決結果	賛成	反対等	小川和也	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	石田洋治	松村信之	小林太	月森和弘	塩谷裕志	石橋秀利	清水勝	河村賢治
■市長提出議案																						
議案第271号 監査委員の選任につき同意を求めることについて		可決	14:3	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	一

※定数18名、うち議長（河村賢治）は採決に加わりません
※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、3月4日、5日に行われ、11人の議員が執行部の考えをいただきました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<https://www.city.oda.lg.jp/>)で閲覧できます。)



▲琴ヶ浜町民運動会 潮くみりレー (5月3日仁摩町)

質問

国は、昨年の全国の出生数は過去最少の75万8631人と発表した。大田市においても、昨年の出生数は159人にまで減少しており、市長施政方針において「人口減少対策を本市の最重要課題」としたところである。今後の子育て支援の取り組みについて伺う。

(1)子ども未来戦略加速化プランと当市の取り組みについて

①若い世代への経済的支援の強化

②子育てサービスの拡充

③働き方改革の推進

答弁

①国において決定された令和6年12月支給分からの児童手当の拡充と妊婦のための支援給付は、法改正の趣旨にのっとり対応する。昨今の物価高騰により保育事業者の負

子育て支援策の拡充を

保育の拡充、多様なニーズに対応したい



いしだ ようじ
石田 洋治 議員



担が増加している状況から、市独自の取り組みとして4500円の副食費を補助することとした。

②育児不安を抱える子育て家庭の割合は増加しており、きめ細かな支援が必要である。新年度から、母子保健機能と児童福祉機能を一体とし、各種の相談などに対応することも家庭センターを子ども家庭支援課内に設置する。2つの機能の連携と協働を深め、伴走型相談支援の充実を図りたい。

③妊娠届出の際に育児休業制度等について説明を行い、出生届の際には父親向けのパンフレットを配付し情報提供している。国は助成制度や認定制度の周知を行っているが、市として一般企業向けに男性への看護・育児休業の取得の働きかけについてはできていない。今後は島根労働局と提携した大田市雇用対策協定に基づき、事業所への訪問等による状況把握や国、県の制度周知を行いたい。

石田議員その他の質問項目

・GIGAスクールの現状と課題

市長の市政運営上の 政治姿勢

みんなが幸せに暮らせるまち
共創のまちづくりが不可欠



わ だ しょういちろう
和田章一郎 議員



念を示したものであり、市長就任以来まちづくりの基本方針として掲げている。共創のまちづくりを推進するため、今後多様な機会を捉え市民の皆さまの声を聞き、積極的に意見交換の場を設けていく。

また、市政推進のために、行財政改革を進めていくことは、市民の方々に我慢やご負担をお願いすることもあり、すべての方にご理解いただけないのも事実である。

「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち、おだ」の実現に向けて、市民の皆さまも共に大田市の未来につなぐ取り組みに参加していただきたい。



▲旧サンレディー大田

答弁 「共創のまちづくり」については、市民、事業者、行政など本市に関わる全ての人が共に行動し、持続可能なまちづくりに取り組む理

質問 市長の政治姿勢の原点は「共創のまちづくり」であり、市民の多様な意見こそが必要と言いつが、この間の市政運営を見る限り、残念ながらこれに反しているのではないか。例えばサンレディー問題での一万人近い反対署名に対して、間をおいて考え直すべきという意見があつたにもかかわらず、いったん決めた方針は一ミリたりとも譲らない頑なな姿勢は如何なものか。もつと柔軟な姿勢が大切と考え

和田議員その他の質問項目
・市の行財政運営について

路線バスの存続を

事業者や県、関係市町と
情報共有し検討する



かき だ けん じ
柿田 賢次 議員



中山間地域をはじめとした島根の生活交通を考えるプロジェクトチームを立ち上げ、現在協議検討を行っている。

②国の補助制度として地域公共交通確保維持事業があり、国から直接事業者へ交付される。県の補助制度として地域間幹線系統確保維持補助金と地域間循環線系統確保維持補助金があり、これらも県から直接事業者へ交付されている。このほか、県では市町村が支出するバス補助金に対して支援する生活交通確保対策交付金制度がある。

③令和2年3月に策定した第2期大田市公共交通網形成計画において、公共交通に対する認知度向上のため、地域などで公共交通に関する意見交換会などに取り組むこととしている。交通事業者が地域に出かけ、高齢者や児童を対象としたバスの乗り方教室なども開かれている。

④今後、他の地域においても地域交通の取組を展開していきたい。それぞれの地域の移動ニーズの把握など、地域交通担当とまちづくり支援担当が連携し進めていくことが重要である。

質問 人口減少や地域高齢化が進む中で地方においては、通院、通学、買い物など住民生活に欠かせない移動手段の一つがバス路線である。全国で減便や路線廃止が相次ぐ中、県内でも利用者の減少、乗務員不足で路線バスの存続が危惧されているが、以下4点について所見を伺う。
①人材確保に向けて官民の議論が必要では
②国・県の補助金制度
③バス利用を増やす取り組み
④民間主導による地域交通を今後

答弁 ①昨年10月、県が中心となり関係市町、中国運輸局島根運輸支局などの交通関係団体で構成される

大田市環境総合計画の 取り組みは

環境に配慮した行政運営と
積極的な情報発信を行いたい



ご ま だ ひろたか
胡摩田弘孝 議員



質問 当市では「大田市環境総合計画」を策定し、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会の実現に向けた取り組みを実施されようとしている。計画策定にあたり、環境の将来像と、計画の具体的な数値や方針、市民・事業者・行政の役割や取り組みについて伺う。

答弁 環境問題は長期的な視点で取り組む必要があることから、

前計画から引き続き「歴史輝き 人と自然が共生するまち おおだ」を掲げている。計画では6つの基本目標を定めており、「脱炭素社会づくり」にトライするまちではゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを進める。また、「もったいない」を合言葉に3Rを実践するまちでは、循環型社会の構

築を目指し3Rやごみの適正処理を推進する。「歴史と文化のおおだ」では、地域景観や市街地景観の保全に努め、「豊かな自然と人が共生するまち」では自然環境の保全、動植物との共生を図る。「みんなが健康に暮らせるまち」では水環境の保全や公害対策に取組み、快適で安らぎのある生活環境を目指す。「高い環境意識で、ともに行動するまち」では、環境学習等を行い、環境意識の醸成を図る。なお、関係諸計画や社会情勢の変化などを踏まえ、CO₂排出量の削減目標のほか、ごみの排出量、環境保護イベントへの参加者数など、数値目標を設定している。

市民の皆様には、まずはご家庭でできる節電や資源物の分別の徹底など、身近な取り組みからお願いをしたい。事業者の皆様には、環境に配慮した事業活動の実践や環境活動への支援をお願いしたい。行政として環境に配慮した行政運営の実践と市民や事業者へ積極的な情報発信を行い、取り組みへの支援を行いたい。

安心して暮らせる 市民生活について

人員体制含め引き続き
公共施設の適正化に努めたい



しみず まさる
清水 勝 議員



質問 物価高騰・実質賃金の低下等により多くの市民が安心して暮らすことが出来る施策が早急に求められていることから次の3点について問う。

- ①賃上げに関する市の取り組み状況
- ②サンレディー大田の災害用備蓄倉庫化や分庁舎移転整備計画の見直し
- ③人口規模・利用実態に基づいたまちセンの職員配置

答弁

①政府は経済界・労働界の3者による政労使会議を開き、賃上げ実現に向けた協力を要請した。市も賃上げは地域経済の発展に必要なことであり、助成制度等の周知について取り組んでいるが、賃上げは直接企業の経営に関わることであり、個々

の事業所において判断し、実施されるものと考えている。

②分庁舎機能等の移転については、各委員会等で説明のとおり、建物の劣化がひどく、危険な状態であること、改修に多額の費用がかかること、現備蓄倉庫の旧消防庁舎は浸水想定区域であり、今後の使用が困難であること。これらの理由により、閉館するサンレディー大田のふれあいホールを活用し、機能集約することで分庁舎や備蓄倉庫の課題解決と施設統合による公共施設適正化の推進を図りたい。

③まちづくりセンターの職員体制については、地域における活動状況や勤務状況等を勘案し、状況等を確認しながら引き続き検討する。



▲市役所分庁舎

防災の取り組み (避難所を中心にして)は

多様なニーズに対応できるよう、
備蓄品の整備に努める



みやわき やすろう
宮脇 康郎 議員



による孤立地区の発生などに備え、市内10か所に分散して食料、飲料水、生活必需品、資機材等の物資を備蓄するとともに、大災害発生時における国、県からの「プッシュ型」の供給などによる備蓄品の体制を確保している。

②14の体育館には、男女ともに洋式トイレがあり、そのうち9つの体育館には多目的トイレもある。今後、学校再編の検討と併せて将来的な市全体の学校配置や校舎、施設等の整備を見据えながら、スケジュールを立てて計画的に整備していく。

③これまでに沿岸部の自治会に協力をいただき作成した地区津波避難計画をホームページに掲載し、閲覧できるようにしている。

(※)災害発生直後における緊急措置で、被災地の要請を待たずに一方的に物資を被災地におくること。

宮脇議員その他の質問項目

・新庁舎整備基本計画(案)について

答弁
①大田市地域防災計画に基づき、当市での被害想定を前提とする大規模な自然災害や局所的な災害

大田市観光と サンドミュージアム

サンドミュージアムの駐車場
新設について整備は困難。



しみず このみ
清水 好 議員



もつながると思うが、どうか。

答弁

①令和元年3万9005人、令和5年3万3991人。

②令和元年は一般3万8596人、団体409人、令和5年は一般3万3611人、団体380人。

③外国の方の来館者数は令和元年度5760人、来館者数の上位は、台湾1402人、香港702人、中国564人、令和5年3630人、来館者数の上位は、台湾601人、フランス544人、アメリカ540人の順。

④三瓶山は令和元年47万7500人、令和5年67万6600人。石見銀山は令和元年26万5300人、令和5年24万6100人。

⑤また、現在のサンドミュージアムの駐車場の位置について、サンドミュージアムと9号線の間の広場をバスの乗降口にすれば、ツアー行程が50分短縮され、石見銀山だけではなくサンドミュージアムへの集客に

三瓶山、石見銀山に多くお客様が来られているが、そのお客様はサンドミュージアムにどのくらい来られているのか。

質問

①コロナ前の集客数と去年の集客数。

②一般と団体がどのくらい来ているか。

③お客様の分類、国内とインバウンドはどのくらいか。

④三瓶山や石見銀山との比較は(数)。

⑤また、現在のサンドミュージアムの駐車場の位置について、サンドミュージアムと9号線の間の広場を

バスの乗降口にすれば、ツアー行程が50分短縮され、石見銀山だけではなくサンドミュージアムへの集客に

彼岸市への支援

彼岸市継続・発展に向け
関係機関と連携



ね ぎ かずゆき
根宜 和之 議員



市内で実施される様々なイベントにおいても、開催にかかわる経費の増加や収入の確保など、課題が生じていることは承知している。

しかし、これまで以上の財政支援を行うことは難しく、開催に当たり、より多くの収入を確保するための方法や取り組み、財源を確保していくための手法等、主催者である大田商

質問 四百年以上の歴史を持つ大田市の彼岸市は、露店商の間で昔から「高市（こういち）」と呼ばれ重要視されている。しかし、会員収入の減少や警備費、衛生費などの増加により、開催主体の大田商工会議所の事業費のうち、約三分の一が開催経費となり大きな負担となっている。

彼岸市は重要な地域資源であり、伝統文化を守るため、街の賑わい創出のためにも支援を充実させることはできないのか。

答弁

地域の賑わい創出と活性化を図るため、彼岸市の運営に對する補助を行い、長い歴史を持つ市の代表的な伝統行事の継承に努めてきた。



▲彼岸市

情報共有や意見交換も行っていく。

根宜議員その他の質問項目

・再生可能エネルギーについて

新庁舎建設に対する 楫野市長の強い思いは

持続可能で健全な
行財政運営を行っていく



まつむら のぶゆき
松村 信之 議員



答弁

現在の市庁舎は、万が一大きな地震が発生し、甚大な被害を受けることになれば、来庁者や職員の安全が確保できないだけでなく、災害対応の司令塔となるべき市役所が機能不全に陥り、深刻な事態が想定されることから、新庁舎の整備が必要であると判断した。また、大田市駅前新築すること、これからの行政サービスの多様化やデジタル化への対応、公共交通機関の活用、大田市駅周辺のにぎわいづくりにも寄与できると考えている。

今後の大型建設事業については、人口減少等を含め、様々な重要課題に對処していくためには、各事業の財源確保は必要と考えている。そのため、令和7年度までの中期財政運営方針については、1年前倒しして見直しを行い、総人件費の抑制や公共施設の適正化を図るとともに、行政サービスの抜本的な見直しを進めていく。

質問 「JRR大田市駅周辺のまちづくり」と大田市駅周辺の東側土地画整理事業の着実な推進、行政のデジタル化や公共施設の適正化を含む行財政改革などに取り組み「また、「老朽化施設の改修を検討する中で、新庁舎整備、子育てにかかわる総合支援拠点施設整備、小・中学校の再編などに着手する」と掲げている。

新庁舎建設は、その中でも市民にとつて安心・安全の核となる施設である。これから予想される大型投資時代に向けての財政見通しや大田市駅前周辺の活性化と共に、大田市の将来についてお聞きする。

障がい者支援の 現状と課題

豊かな暮らしと
自立に向けて支援する



いとう やすひろ
伊藤 康浩 議員



ている。しかし、無人の駅では十分な対応ができないのが現状である。

② 本人と職場との伴走的な支援が求められており、「障がい者就労生活支援センター」や「公共職業安定所」と連携し、希望や適性を把握のうえ職場実習を通じ一般就労促進に取り組んでいる。例年、市内22事業所で職場実習を受け入れていただき、過去3年間で合計14名が一般就労されている。また、「自動車改造費用助成」「運転免許取得費用助成」などにも取り組んでおり、就労を通じて精神的・経済的に自立していくことが重要と考える。

③ 「大田市障がい者就労支援施設等からの物品等の調達方針」を策定し、初年度の平成25年度は281万円、令和元年度は594万円、令和4年度は367万円である。

はコロナの影響で367万円である。

引き続き、優先的な調達発注で工賃の向上を図り、障がいのある方の自立に向けた支援に取り組んでいく。

質問

介護保険制度は「社会で支える介護」をかかげて2000年に導入されたが、介護報酬の連続削減や保険料・利用料の引き上げなどが続けられてきた。現役世代も高齢者も安心できる公的介護制度にしていけることが重要である。

安心して暮らせる 介護保険制度を

出来るだけの配慮はしたい



かめたに ゆうこ
亀谷 優子 議員



介護保険料を引き上げなければ原資が確保できず、介護保険制度を維持するため、保険料の引き上げを行いたいと考える。

② 利用負担額が一定の額を超えた場合は高額介護サービス費等の給付などを実施しているが、新たな制度の創設や既存制度の拡充は、介護給付費の増加につながるから慎重に考えている。

③ 今後、総人口や高齢者人口は減少すると見込んでおり、施設の新増設は行わず、現行の定員を維持したい。

④ 介護職員の処遇改善は改善された額を負担し続ける必要があるため、市単独で処遇改善を実施するには、財政負担が大きく困難と考える。

⑤ 介護福祉士や介護支援専門員の資格取得に係る受験料等の助成、人材育成支援事業や介護の魅力発信動画作成事業などを引き続き実施する。

答弁

① 介護サービスの利用が進むほど保険給付費が増加し、介

答弁

① 公共バスの石見交通では、所有車輛28台の内26台が、昇降口に段差のないノンステップバスである。

JRの大田市駅では、駅員が乗降の介助を行い、降車駅にも連絡し対応し

- ① 市内公共交通機関のバリアフリー化の現状
- ② 障がいのある方への就労支援
- ③ 障がい者就労施設等からの物品等の調達

行革・公共施設調査検討 特別委員長最終報告

〔2月9日に開催〕

委員長 松村 信之

市内葬斎場の整備方針案

【説明】

仁摩・温泉津の葬斎場の随時閉場について、激変緩和措置として、次の耐火レンガ改修が必要となる令和12年度末まで使用する。

問 地域との話し合いについて

答 議会説明後、出向いて説明する。

問 過疎債が5億2400万円となっているが、見直しはどうか。

答 各年度、県内で全体の事業状況をみながら決定になるものであり、確保できない場合は他の事業の財源を振り替えることになる。また、過疎債取得に対しても平準化を図りながら、過疎債を得られるよう安定した財政運営に努める。

問 長寿命化改修ではなく、新築した場合の概算予算はいくらになるか。

答 概算見積りでは13億3000万円になる。それに土地の取得費やインフラ整備など、莫大な事業になる

と予測される。また、期間についても、地区の選定や基本構想策定、設計等を行うと10年にかかる。今の建物もたない可能性もあるため、改修とした。

問 使用料の改定及び補助制度の検討について

答 使用料については、令和7年度に公共料金に関する審議会を設置し審議する。

他市の葬斎場使用に係る補助及び霊柩車料金については、市内各地から現大田葬斎場までの交通事情を考慮し検討する。

意見

・見直しをすることは評価したい。
・平成30年の行革特別委員会にて火葬場の集約を望むという話がベースとなっており、火葬炉の寿命を考えると早い対応が必要。
・事前に地域住民への説明が必要であり、検討してほしい。

サンレディー大田の用途変更に伴う新大田まちづくりセンター等の利用にかかる説明

問 利用者の皆さんは理解しているのか。

答 今回の説明会で約70団体に参加してもらった。現在、60団体に利用申し込みをもらっているのので、ある程度の理解はしていただいたと

考える。

問 夜間警備員の配置や職員の時間差出勤はできないのか。

答 夜間警備員の配置や職員の時間差出勤は考えていない。まずは他のまちセン同様に利用してもらい、今後は状況をみながら適宜対応する。

問 貸出し用鍵の管理について

答 1つ失くすと50個ぐらい作り直さないといけないため、失くさないようをお願いしたい。

問 職員の業務について

答 社会教育の促進、貸し館業務等がある。まちづくり支援団体との協議もあるが、他のまちセンと同様、センター長1人、職員2人で対応する。

意見

・機能を強化するためにはある程度の人員を確保することも必要。

サンレディー大田の改修

問 向こう10年間に必要な経費について

答 令和15年頃までに必要であろうとの想定のもとだが、約6億円は必要と考える。

問 指定管理料がなくなっても、まちセンの人件費がかかるため、財政効果が見込めないのではないか。

答 まちセンの人件費は、市民センターにあるまちセンとして現在もか

かっている。現在のまちセンは今後、生涯学習エリアとして稼働するため、大田市民会館の施設として指定管理料が発生する。その差額部分が今後の財政効果として見込める。

市役所分庁舎の危険性評価に対する第三者調査

問 調査内容の信頼性はどうか。改修ではないのか。

答 市の調査だけでは不十分のことで、建築物判定等の実績を豊富に有している島根県建築住宅センターが調査を行った。検証の結果、落下する可能性が極めて高く、安全策を講じる必要があるとのことだった。

問 1億1000万円で分庁舎の改修ができるのに、2億5000万円使って分庁舎の機能をサンレディー大田に移転するのはいかがなものか。

答 公共施設適正化の観点から、1億かけて改修するよりも、閉館となるサンレディー大田に機能集約する方が先々の維持管理を考えると有利であると判断した。

大田市公共料金に関する審議会経過

問 値上げをすることで、公共下水道、合併浄化槽との調整はとれているのか。

答いくつかのパターンを示し、昨今の状況から上がるのはやむを得ないとの意見をいただいている。下水道事業課にも情報提供するなど調整していきたい。

意見

・抑制策を検討してほしい。

議会活性化検討 特別委員長最終報告

「1月17日、2月1日に開催」

委員長 石田 洋治

YouTube動画配信の運営方針

目的

YouTubeを情報発信の公式ツールとして、開かれた議会、見える議会を目指し、動画等を活用した情報提供を行う。

アカウント名

大田市議会

発信内容

大田市議会に関するもの

運営管理

大田市議会事務局

投稿時間

原則として平日の職務執行中で随時とする。ただし、それ以外の時間についても必要に応じて投稿等をする場合がある。

利用方法

動画等へのコメントは受け付けない。意見、質問は大田市議会事務局まで。

知的財産権

大田市議会に帰属する。著作権法上認められた場合を除き、無断で複製、転用することはできない。

免責事項

第三者等とのトラブル等による責任について、大田市議会が一切責任を負わない。

議会活性化について

意見

・3月議会から一般質問の動画発信は開かれた議会として一歩前進。今後は常任委員会や全員協議会の配信も検討すべき。また、手話通訳や字幕スーパードについて検討も必要。
・大田市PTA連合会や各小・中学校のPTA会長と市議会との意見交換を持つことも大事。
・議員の成り手不足の解消のため、若い世代の市民へ議会活動がどういうものかを伝えることが必要。

・YouTubeの視聴者数をあげるための取り組みを積極的に行っていきたい。
・多くの市民に議会に関心を持っていただくよう、今後も議会活性化検討特別委員会の設置を要望する。

新庁舎建設調査検討 特別委員長中間報告

「7月11日、21日に開催」

委員長 河村 賢治

大田市新庁舎建設について

問 建築面積が増えた理由について
答 職員数が390名、その人数は6000㎡では入れないため、8200㎡が必要と考える。

建設費用について

問 入札は^(※)プロポーザル方式とする。
答 コストカットの部分の大きな評価項目となるように実施していくため、この方式を選定した。

建設候補地の住民理解について

問 市長と語る会や関係機関との話し合いでは、圧倒的に駅東側に建設してほしいとの意見であった。
答 JR、石見交通などの交通の要であり、駅通りのにぎわいにもつながる。市有地が多く、用地取得費が抑えられるなどの利点もある。

財源確保について

問 建設費の約7割にあたる55億円の起債があり、25年返済で3年据置き、2億5000万円を22年間で返済となる。

問 人口減の対応、職員数をしっかりと考えるべき。

答 職員数や業務内容など庁舎規模をどれだけ抑えることが出来るのか検証を行っていきたい。

意見

・テナントなど併設するものがあれば示してほしい。
・免震、耐震の内容を示してほしい。
・公用車の台数の変化について精査してほしい。

・ソーラーパネルの設置はどうか。
・庁舎だけでなく、駅前からつながる商店街の将来像も考えてほしい。
・財源、財政について、10年先のシミュレーションを示す説明がほしい。

・この特別委員会を今後も納得のいく調整の場としたい。

(※)最も適した提案書（プロポーザル）を提示した提案者を選定する方式のこと。公平性・透明性・客観性を備えた質の高い提案を可能にする。

新広報広聴委員紹介



●広報広聴委員会が協議する主な事項●

- 1、議会広報紙(市議会だよりおおだ)の編集・発行
～見やすく、伝わる広報紙を目指します～
- 2、議会のウェブサイトの編集・発信
～スピーディーな情報発信を心がけます～
- 3、議会報告会の開催
～市民の皆さんと意見交換できるよう取り組みます～



大田市議会News!!



お待たせしました! 5月1日から
一般質問 YouTube 配信スタート!



大田市議会では、令和6年3月定例会の一般質問よりYouTubeでの動画配信を開始しました。市議会だよりのQRコードの読み取り、又は市議会ホームページより一般質問の動画がいつでも見ることができます。(動画配信では一般質問の全ての内容をご覧いただけます。)
皆さんからのアクセスをお待ちしています!
(コメントはできませんのでご了承ください)

チャンネル登録
よろしくね



議会を傍聴
してみませんか

お気軽に
どうぞ!



次の定例会の予定は6月です。
市議会を身近に感じる良い機会です。
◇傍聴席は定員 64 人です。

6月定例会日程
(3日～18日)

3日	本会議(開会・議案上程)
6日	本会議(一般質問)
7日	本会議(一般質問)
10日	本会議(上程議案に対する質疑)
11日	総務教育委員会
12日	民生委員会
13日	産業建設委員会
18日	本会議(表決・閉会)

傍聴は、市政に関する状況や方針、地域の課題なども取り上げられる一般質問がおススメです。
臨場感あふれる議場でのやりとりをぜひご覧ください。

地域や職場のグループで勉強会はいかがですか。授業の一環での見学もお待ちしております。
団体での傍聴は、事前に議会事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先…大田市議会事務局

(TEL: 0854-83-8137)

編集後記

本年1月に石川県能登地方を震源とする地震が発生しました。お亡くなりになられました方々にお悔やみ申し上げます。また被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、大田市議会も新体制でのスタートとなりました。今後開かれた議会づくりを、引き続き全議員一丸となって目指してまいります。その開かれた議会づくりのひとつに議会だよりがあり、市民の皆様に見やすく、わかりやすい議会だよりにしていくよう、より一層努力をしてまいります。

広報広聴委員会

委員長	小川 和也
副委員長	胡摩田 弘孝
委員	石田 洋治
委員	宮脇 康郎
委員	清水 好
委員	柿田 賢次
委員	伊藤 康浩

坂根印刷